

多様性社会を生きる「次世代」の育成 ~外国につながりを持つ子どもたちへの学習支援~

共催:(一財)自治体国際化協会(CLAIR)

外国につながりを持つ子どもたちの多くが日本語能力が十分でない等の理由から学校で孤立したり、進学をあきらめざるを得ない状況になっています。

この研修では、講義や事例研究等を通じ、外国につながりを持つ子どもたちや保護者等を取り巻く現状について理解を深めるとともに、多様性社会における外国につながりを持つ子どもたちへの学習支援のあり方について、現場における課題を共有し、受講者がそれぞれの職場や地域で抱える課題の解決につながる実践的な方策を考えていきます。

研修の ポイント

- ①本研修テーマに関する現状と課題について講義や受講者間の情報交換等を通して学びます。
- ②現場における課題を共有し、支援事業の事例等について学びます。
- ③演習を通して、受講者一人ひとりの課題に対応させ、受講者が抱える課題の解決策を探り ます。
- ④特に「傾聴」を取り入れた、学習支援とキャリア教育支援に焦点をあてます。
- ※群馬大学 大学教育・学生支援機構 大学教育センター教授 結城 恵 氏のファシリテート により、全日程を進めていきます。

開催要領

日 程

令和4年7月25日(月)~7月29日(金)(5日間)

場所

全国市町村国際文化研修所

JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

- ○市区町村・都道府県の職員、地域国際化協会・市区町村国際交流協会職員で、多文化共生に関心のある方(国際・多文化共生担当課以外の方も受講できます。)
- ○多文化共生、福祉、教育等の分野で地方公共団体や地域国際化協会と協働実績があるNPO またはNGOの職員の方で、地方公共団体や地域国際化協会から受講推薦を受けた方

5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能です。実務的な内容となっておりますのでご留意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10.300円 ((一財)自治体国際化協会からの助成対象外の方は16,800円)

上記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食4回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和4年6月7日(火)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(https://www.jiam.jp/doc/)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2~3週間前までの送付とさせていただきますので、ご了承ください。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

合和4年

11:00~12:00 受付•昼食

開講・オリエンテーション・入寮オリエンテーション 12:20~

12:40~13:00 講 研修のねらい

13:00~14:10 導入議 外国につながりを持つ子どもたちへの学習支援

~学習支援・キャリア学習支援~

外国につながりを持つ子どもの存在が、学びの場に与える影響やその存在を活かす方策についてお話しいただきます。

14:25~17:00 情報共有・演習 外国につながりを持つ子どもたちへの学習支援の取組

~受講者の取組課題の設定・確認~

受講者による事前課題の発表をもとに、本研修で設定する課題を検討し、決定します。

交流会 17:30~ (夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。)

6和4年

事例研究 質疑応答 傾聴技法を学ぶ 9:25~12:00

キャリアブリッジ代表 1級キャリアコンサルティング技能士 片岡 裕子 氏

子どもたちへの声とその背景を汲み上げていくアプローチ方法の一つでもある「傾聴」を、マイクロカウンセリング技法から学びます。また、その技法を実際に使って傾聴法を体験していただきます。

13:00~15:35 <mark>議・演習</mark> 外国につながりを持つ子どもたちを活かす学習環境づくり ~「傾聴力」をどう活かすのか~

> 各自の取組の課題解決につなげていくために、そのヒントとなる考え方や取組事例を、「傾聴力」に焦点 を当てて解説していただきます。

15:50~17:00 麗 受講者の取組課題の検討①

9:25~10:35 講 取組課題解決のためへの視座

10:50~12:00 | | | 外国につながりをもつ子どもたちの母語・母文化に誇りを持って キャリアにつなげる活動

> NPO法人 おおさかこども多文化共生センター 副理事長 村上 自子 氏 おおさかこども多文化共生センターの活動概要と母語・母文化を活かせる取り組みについてお話しいただ きます。大阪府立高校の母語・母文化教育、高校生の母語によるスピーチコンテスト等の活動を紹介します。

13:00~14:10 郭烱 外国につながりを持つ大学生・社会人の発表

高部 和美 氏、リオ メイ カビガオ 氏、パレル ハンズII 氏、モライマ フローレス 氏 大阪府立高校で母語教育の授業を受け、様々な活動を通じて、自分の母語・母文化に誇りをもって、 進路選択をすることができた先輩からの思いを語っていただきます。

14:25~15:35 パネルディスカッション

NPO法人 おおさかこども多文化共生センター 副理事長 村上 自子 氏、

高部 和美 氏、リオ メイ カビガオ 氏、パレル ハンズII 氏、モライマ フローレス 氏

15:50~17:00 灘 ふりかえり

事例から得た知見を各自の取組の課題解決につなげて、課題解決のヒントを探ります。

7和4年

9:25~10:35

〜関係機関との連携を中心に〜

三重県国際交流財団 国際教育課長 宇藤 美帆 氏

学習支援、キャリア支援を進めていくうえで必要となる関係機関や専門家等との連携について、関係づくりやネットワークの維持方法など、連携を実践していくためのポイントについてお話しいただきます。

10:50~12:00 事務分 外国につながりを持つ子どもたちが日本で前向きに生きる 為には~当事者と親の目線から~

三重県国際交流財団 専門員 上原 ジャンカルロ 氏

外国につながりを持つ当事者としての経験や、外国につながりを持つ子の親として感じてきたことに ついてお話しいただきます。

13:00~14:10 | 議 支援団体へのエンパワーメントのために

14:25~17:00 麗 受講者の取組課題の検討②

11:30~12:00 総括議 研修の総括とこれからの実践を充実させるためのヒント

12:00~12:30 ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

◎全日程、群馬大学 大学教育・学生支援機構 大学教育センター教授 結城 恵 氏に指導いただきます。

■(一財)自治体国際化協会が下記のとおり助成します。

①地方公共団体に属する職員…………………………………… 研修費(6,500円)を助成

※地方公共団体に属する職員については、研修費のみの助成となっていますので、ご注意ください。 ②地域国際化協会、市区町村の国際交流協会に属する職員……………………………… 研修費(6,500円)及び往復交通費の

全額を基準とした額を助成

地方公共団体や地域国際化協会と協働して多文化共生等の事業展開に取り組むNPO またはNGOで、地方公共団体又は、地域国際化協会から推薦を受けた団体に属する職員

※詳しくは(一財)自治体国際化協会(CLAIR)多文化共生部多文化共生課までお問い合わせください。

TEL: 03-5213-1725 FAX: 03-5213-1742

ホームページ: http://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html E-mail: tabunka@clair.or.jp

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。